

事業計画書

補助事業名	
新製品・新技術の概要	（新技術・新製品の背景、目的、内容等について、300文字程度で具体的に記載すること）
開発内容	（今年度の研究開発（※）の目標、内容等を記載すること。また、開発項目ごとに目標、解決手段、実施内容等を記載すること）
開発スケジュール	（今年度の研究開発のスケジュールを開発項目ごとに記載すること） （※表形式でも可）
共同開発企業 又は機関等	（今年度の研究開発に関して、共同開発を行う企業等があれば記載すること）
新規性・ 独自性	（新技術・新製品に関して、従来の製品等にはない優れた点、模倣されにくい点、自社の強みを活かせる点、知的財産権の取得可能性について記入すること）
市場性	（新技術・新製品の市場ニーズ、市場規模、市場シェアの見込みについて記載すること）
事業化・製品化の 見込み	（新技術・新製品の事業化に向けて、今年度の研究開発以外に必要な事項（追加開発、生産・販路開拓の体制整備等）について記載すること）
環境性・社会性	（新技術・新製品が脱炭素をはじめとする環境への貢献、社会や産業界に与える影響を記載すること）
特許・実用新案 （申請中を含む）	
他の補助金の 申請・採択状況	
加点項目	（以下の加点項目及び特記事項欄への記載は必須ではありません。該当する場合にのみ記載ください。加点項目については、審査会にて加点の妥当性が認められた場合のみ、加点対象となります。）
* 加点項目 【産学連携体制】	※本事業を実施するにあたり学校教育法（昭和22年法律第26号）で定める大学等との連携により実施する体制がある場合には記載ください。 ※記載した産学連携体制を証する申請日時時点で有効な共同研究契約書もしくは覚書等を添付してください。

特 記 事 項	※貴社の得意とする技術などPRしたい点があればお書きください。

※ 説明に資料が必要な場合には、別に添付してください。

※ 今年度の研究開発とは、新技術・新製品の事業化のために行う研究開発のうち、今年度、本補助金を活用して取り組む予定の研究開発のことをいいます。